

鳥取縣公報

縣 令

第八百八十四號
昭和十二年十二月三日
金曜日

◇鳥取縣縣令第五十號

昭和十二年三月鳥取縣令第六號粳粉檢查規則中左ノ通改正ス

昭和十二年十二月三日

鳥取縣知事 立 田 清 辰

第九條中「票箋ニ検査年月日及検査等級ヲ記入シテ検査証印ヲ押捺ス」ヲ「票箋ニ検査年月日検査等級ヲ記入シ記號印並ニ検査證印ヲ押捺ス」ニ改メ左ノ記號印ヲ挿入ス

記號印（雛形）肉色紫

- | | | |
|-------------|---|------|
| 陸 稻 粳 | ⊕ | 經一 粳 |
| 水 稻 糯 粳 | ⊗ | 經一 粳 |
| 水 稻 粳 粳 旭 種 | ⊙ | 經一 粳 |

鳥取縣公報 每週曜日發行（休日ニ當ル） 昭和十二年十二月三日 第八百八十四號 第三種郵便物認可

- 水稻粃粉 大山種 (大) 經一糧
- 水稻粃粉 銀坊主種 (中) 經一糧
- 水稻粃粉 銀坊主種 (小) 經一糧

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

條 例

◇鳥取縣條例第八號

支那事變ニ伴フ縣稅不課稅ニ關スル條例左ノ通定ム

昭和十二年十二月三日

鳥取縣知事 立 田 清 辰

支那事變ニ伴フ縣稅不課稅ニ關スル條例

支那事變ノ爲ニスル應召又ハ出征ニ關シ左ノ者ニ對スル縣稅特別地稅、家屋稅、營業稅及雜種稅(遊興稅及觀覽稅ヲ除ク)ハ應召又ハ出征ノ翌月ヨリ應召又ハ出征ノ事由已ミタル月迄之ヲ賦課セス

一 應召シタル者ノ家族若ハ遺族ニシテ軍事扶助法ニ依リ生活扶助ヲ受クル者及其ノ應召者

- 二 出征シタル者ノ家族若ハ遺族ニシテ軍事扶助法ニ依リ生活扶助ヲ受クル者及其ノ出征者
- 三 軍事扶助法ニ依リ生活扶助ヲ受ケサルモ應召又ハ出征ニ因リ生活困難ニ陥リタルモノニシテ知事ニ於テ必要アリト認ムル者

附 則

本條例ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本條例施行ノ際本文ノ事由既ニ發生セル者ニ付テハ其ノ應召又ハ出征シタルトキヨリ之ヲ適用ス

告 示

◇鳥取縣告示第六百九十七號

家畜傳染病豫防法第七條ニ依リ「トリコモナス」ニ因ル牛ノ傳染性流産豫防ノ爲左ノ區域内ニ於テ飼養スル牝牛ニシテ妊娠百日以内並不妊ノモノ(分娩シモノ及未ダ種付セザルモノニシテ近ク種付セントスルモノヲ含ム)及種牝牛ノ檢診左記ノ通施行ス。但檢診合格證有效期限内ノモノヲ除ク依テ該牛ノ所有者又ハ管理者ハ種付證明書及檢診合格證ヲ携帶ノ上指定ノ日時及場所ニ牽付檢査ヲ受クベシ

昭和十二年十二月三日

鳥取縣知事 立 田 清 清

同	十九日	崎津村役場 縣村役場	崎津村、和田村	同
同	二十日	渡村役場 大幡牛馬市場	渡幡村	同
同	二十一日	餘子村役場	餘子村、上道村、境町	同
同	二十二日	大篠津村役場	大篠津村、中濱村	同

◆鳥取縣告示第六百九十八號

昭和十二年十二月三日左記ノ者ニ對シ動力糶業免許證ヲ下付セリ

昭和十二年十二月三日

鳥取縣知事

立

田

清

辰

免許證番號	住	所	氏	名
第一、〇七六號	岩美郡蒲生村大字馬場一三二番地		山	添萬壽平
第一、〇七七號	同 郡同 村大字馬場一一五番地		森	本治政
第一、〇七八號	同 郡宇倍野村大字麻生一〇一番地		田	邊健太郎
第一、〇七九號	同 郡大岩村大字岸本九五番屋敷		石	河吉男

第一、〇八〇號	八頭郡八東村大字植田一三二番地		木	下正美
第一、〇八一號	東伯郡泊村大字園六六四番地		奥	田田清吉
第一、〇八二號	西伯郡法勝寺大字馬場二七二番地		高	木木譽治
第一、〇八三號	同 郡大和村大字佐陀一一九番地		渡	正正喜
第一、〇八四號	同 郡宇田川村大字本宮二六四番地		地	頭壽秋

◆鳥取縣告示第六百九十九號

氣高郡瑞穂村二本木耕地整理組合設計書變更ノ件認可セリ

昭和十二年十二月三日

鳥取縣知事

立

田

清

辰

◆鳥取縣告示第七百號

大正十四年六月二十三日教第四三七號ヲ以テ木下きくニ交付セシ恩給證書ハ紛失セル旨届出ニ依リ
昭和十二年十一月三十日再交付セリ

昭和十二年十二月三日

鳥取縣知事

立

田

清

辰

鳥取縣告示第七百一號

左記ノ者ニ對シ今回無試驗檢定ノ上各頭書ノ小學校教員又ハ幼稚園保母ノ免許狀ヲ授與セリ

昭和十二年十二月三日

鳥取縣知事

立

田

清

辰

小學校本科正教員

朝

田

富美子

同

岸

本

つや

同

伊

藤

正倫

同

岡

本

幸男

同

小

倉

巴

同

山

根

靜枝

同

岡

本

菊江

同

野

儀

美彰

同

林

賢

賢治

同

中

原

光太郎

小學校准教員

福

田

忠義

尋常小學校本科正教員

垣

内

寛

同

相

見

鎮

城

同

久

葉

知

章

小學校專科正教員(農業科)

河

原

保

同

前

田

正

同

吉

田

廉

幼稚園保母

杉

原

和

江

鳥取縣告示第七百二號

市街地建築物法施行細則第二十五條ノ規定ニ依リ左ノ通假設建築物建築ノ件許可セリ

昭和十二年十二月三日

鳥取縣知事

立

田

清

辰

一 建築主ノ住所氏名

鳥取市岩倉五十番地

一 建築物ノ所在地

鳥取市岩倉四百五十三番地内一

一 建築物ノ用途

住宅

- 一 構造 種 別 木造瓦葺二階建
- 一 建築物ノ面積 建築面積 一〇四、〇四二平方メートル
突出セル部分 一九、一八八平方メートル
- 一 命 令 事 項

一 本建築物ノ存続期限ハ都市計劃事業實施迄トス

一 前項ノ存続期限滿了ノ時ハ都市計劃事業實施者ノ指定スル期日内ニ無償ニテ本建築物ヲ除却スベシ

一 本建築物ヲ他人へ讓渡シタル場合ハ十日以内ニ届出ツベシ

一 知事必要アリト認ムルトキハ本命令書ノ條項ヲ増減若ハ變更スルコトアルベシ

◆鳥取縣告示第七百三號

市街地建築物法施行細則第二十五條ノ規定ニ依リ左ノ通假設建築物建築ノ件許可セリ

昭和十二年十二月三日

鳥取縣知事 立 田 清 辰

- 一 建築主ノ住所氏名 米子市東倉吉町一二五ノ一
- 一 建築主ノ所在地 米子市東倉吉町一二八ノ一
一三ノ一 番地

- 一 建築物ノ用途 住 宅
- 一 構 造 種 別 木造瓦葺二階建
- 一 建築物ノ面積 建築面積 七四、四一二平方米
突出セル部分 六六、二二三平方米
- 一 命 令 事 項

一 本建築物ノ存続期限ハ都市計劃事業實施迄トス

一 前項ノ存続期限滿了ノ時ハ都市計劃事業實施者ノ指定スル期日内ニ無償ニテ本建築物ヲ除却スベシ

一 本建築物ヲ他人へ讓渡シタル場合ハ十日以内ニ届出ツベシ

一 知事必要アリト認ムルトキハ本命令書ノ條項ヲ増減若ハ變更スルコトアルベシ

◆鳥取縣告示第七百四號

市街地建築物法施行細則第二十五條ノ規定ニ依リ左ノ通假設建築物建築ノ件許可セリ

昭和十二年十二月三日

鳥取縣知事 立 田 清 辰

- 一 建築主ノ住所氏名 米子市車尾字中島七八番地
- 一 小 別 所 政 吉

- 一 建築物ノ所在地 米子市車尾八二四番地
- 一 建築物ノ用途 住宅
- 一 構造種類 木造瓦葺二階建
- 一 建築物ノ面積 建築面積 六五、九二〇平方米
突出セル部分 二四、七二五平方米
- 一 命令事項

一 本建築物ノ存續期限ハ都市計劃事業實施迄トス
 一 前項ノ存續期限滿了ノ時ハ都市計劃事業實施者ノ指定スル期日内ニ無償ニテ本建築物ヲ除却スベシ

一 本建築物ヲ他人ヘ讓渡シタル場合ハ十日以内ニ届出ヅベシ
 一 知事必要アリト認ムルトキハ本命令書ノ條項ヲ増減若ハ變更スルコトアルベシ

◆鳥取縣告示第七百五號

當管内ニ於ケル健康保險產婆左ノ通指定セリ

昭和十二年十二月三日

鳥取縣知事 立 田 清 辰

開業所々在り	氏名	指定年月日
鳥取市寺町一七番地二	坪谷シナ	昭和十二年十二月一日

◆鳥取縣告示第七百六號

當管内ニ於ケル健康保險產婆左ノ通指定セリ

昭和十二年十二月三日

鳥取縣知事 立 田 清 辰

開業所々在り	氏名	指定年月日
岩美郡本庄村大字本庄四八九番地	關原敏子	昭和十二年十二月一日

◆鳥取縣告示七百七號

健康保險法施行規則第二十三條ニ依リ交付シタル被保險者證中左ノモノハ之ヲ無効トス

昭和十二年十二月三日

鳥取縣知事 立 田 清 辰

被保險者證 記號番號	被保險者氏名	工場事業場又ハ事務所所在地並名稱	無効トセル被保險者證交付年月日	無効トナリタル年月日	備考

米 ひ	一七八	山本茂平治	米子市東町三八 日ノ丸自動車株式會社 米子支社	昭和十二年 一月十六日	昭和十二年 十一月十五日
鳥 ひ	二八九	米村傳市	鳥取市東品治町 日ノ丸自動車株式會社	昭和十一年 六月九日	右 同
米 よ	六〇七	安井義久	米子市久米町 株式會社 米子製鋼所 米子工場	昭和十二年 三月十九日	昭和十二年 十一月十二日
米 よ	六一〇	八田正光	右 同	右 同	右 同

◆鳥取縣告示第七百八號

昭和十二年鳥取縣條例第八號支那事變ニ伴フ縣稅不課稅ニ關スル條例ニ依リ縣稅ノ免除ヲ受ケント
スルトキハ其ノ營業主、所有者又ハ行爲者ハ鳥取縣稅賦課條例施行細則第四條ノ規定ニ準ジ所轄市
町村長ヲ經由シ所轄財務出張所長ニ之ガ申告ヲナスベシ

昭和十二年十二月三日

鳥取縣知事

立

田

清

辰

彙

報

滿鐵鐵道從業員求人要綱

一 本求人ノ趣意

滿蒙ニ於ケル國策遂行ノ先驅者トシテ治績ヲ舉ゲ來タツタ滿鐵ハ滿洲事變後ハ全滿ノ國有鐵道ノ經
營ヲ委任セラレル所トナリ新線ノ建設ト相俟ツテ國防上ノ使命ハ勿論滿洲ノ諸産業ヲ開發シ更ニ北
支方面ノ鐵道經營ニ就テモ其ノ重命ハ愈々加リツツアリ斯ル國策鐵道ノ第一線ニ從事スル現業員ハ
凡有困苦缺乏ニ耐ヘ精勵業務ニ殉シ鐵道奉公ノ意氣ニ燃ユル志士的青年タルコトヲ要スル、此ノ意
味ニ於テ本求人ノ眼目トスル所ハ身體強健ナルヲ第一義トシ驕慢怠惰ニシテ輕佻浮華ノ者ヲ排シ着
實勤勉ニシテ實質剛健ナル地方青年ヲ選ハントスルモノデアル

一 求人者

滿鐵鐵道總局人事課

人事課所在地 奉天市

一 就業場

鐵道現業員（各驛從業員、列車從業員、機關車從業員、檢車從業員、工務從業員——線路從業員
電氣從業員ヲ含ム）

滿洲ヲ主トシ情況ニヨリ北支ノ鐵道ニ從事スルコトアルモノトス

一 採用地並人員
未經驗者

但シ一部分ハ現職ニ在ラサル有經驗者ヲ含メテ採用ス

採用數ノ内中等學校出身者ハ全數ノ約四分ノ一トシ他ヲ小學校出身者トス

鳥取縣 三〇人 其ノ他 二九七〇人

計 三〇〇〇人

一 採用條件

イ 未經驗者

1、年齢並配偶者ノ有無、算へ年十七才以上二十四才迄ノ獨身者

2、學歷、小學校卒業者以上中等學校卒業者以下

3、身体強健ニシテ視力、辨色力、聽力及骨關節機能ニ障害ナキ者

4、強度ノ近視、色盲、トラホームニ罹リ居ラサルコト

5、身長ト体重並胸圍トノ關係ハ左記標準ニ據ルコト

身

長

一五五糎以上

一六〇糎以上

一六五糎以上

体	重	四七斤以上	五〇斤以上	五五斤以上
胸	圍	七八糎以上	七九糎以上	八一糎以上

色盲トラホームニ罹リ居ラサル事

ロ 有經驗者

1、鐵道現業員(運轉、工務、檢車、線路、電氣)

二箇年以上ノ經驗アル者

2、年齢算へ年三十五才未滿

3、現職ニ在ラサルコト

一 採用後ノ資格待遇

イ 未經驗者

1、試験ニ合格シタル者ハ準備員トシテ採用ス(六箇月以内勤務成績並ニ身体檢査成績等ヲ考慮シ備員ニ採用ス)

2、待遇

A、準備員期間

- (一) 高等小學校卒業者月收約四十五圓(年齢ニ多少増減)
- (二) 中等學校卒業者月收約五十五圓(中學、商業、工業、農業又ハ乙種實業等ノ別ニ依リ多少増減アリ)

(三) 住宅住宅ヲ貸與ス

(四) 被服 現業ニ従事スル者ニハ業務用被服ヲ貸與

B、備員期間

(一) 住宅又ハ住宅料ノ支給

(二) 在勤手當 (關東州内在勤者ヲ除キ日給ノ六分乃至四割八分ノ手當ヲ支給ス)

(三) 共濟制度所定ノ醸金ヲナシ治療費入院料等ヲ支給セラル

(四) 其ノ他消費組合又ハ生計所ニ於テ市價ヨリ低廉ナル日用品ヲ購買シ得ル外幾多ノ福利

施設アリ

ロ 有經驗者

經歷及本人ノ技能ニ應シ夫々備員、雇員、職員ノ資格ニテ採用シ相宜ナル初任給ヲ支給ス

一 募集並銓衡方法

(イ) 書類提出期限 十二月九日迄ニ到着スルコト

(ロ) 提出 先 縣下職業紹介所(此ノ場合明カニ不適當ト認ルムモノハ應募セシメザルコト)

(ハ) 銓衡試験ハ縣係員職業紹介所員立會ノ下ニ滿鐵社員ニ於テ(醫師ヲ同行)現地銓衡方法ニ依ル

(ニ) 右試験施行地並日時

鳥取市職業紹介所

十二月十九日午前九時

(ホ) 銓衡方針

A、身体强健ニシテ困苦缺乏ニ耐ヘ鐵道現業ニ適任者タルコト

B、思想穩健ニシテ意志強固ナル者

(ヘ) 右ノ方針ヲ以テ身体検査ト口頭試問ヲ爲シ合格者ヲ決定ス

(ト) 採否決定ハ銓衡試験終了後直チニ試験場ニ於テ發表ス

一、提出書類

イ、志願書 (様式左記)

ロ、自筆履歷書 (毛筆)

ハ、學業成績表

(小學校ハ通信簿ヲ中等學校卒業者ハ各年別試驗表ヲ添付スルコト)

一 就職旅行

(イ) 日 時 十二月下旬ノ豫定

(ロ) 就職旅費 採用者ハ職業紹介所ヲ通シ左ノ旅費ヲ支給ス

金七拾圓 (滿洲在勤地迄ノ打切旅費)

記志願書様式 (用紙美濃紙)

志 願 書

氏 名

今般御社鐵道従事員採用試驗ニ應募致度ニ付御銓衡ノ上採用相成度候也

昭和十二年十二月 日

右 氏 名

滿鐵鐵道總局人事課長殿

昭和十二年十二月三日印刷
昭和十二年十二月三日發行

發行者 鳥取縣鳥取市東町
印刷所 鳥取縣高郡大正村大字古海
鳥取刑務支所